

主題：一神のみことばを素直に受け入れて、実を結ぶ者となる

2021/9/8(水曜日)

目標：一神のいのちのことばによって成長する

キリスト伝

第二ガリラヤ伝道 ④

マタイの福音書 13:1~23

## 「天国の7つのたとえ1」

### 種まきのたとえ

今回の「種まきのたとえ」は、7つの「主イエスの天国のたとえ」の入門編である。これらの喩えは、喩え本体と、喩えを用いて話をする意味、そして喩え自体の解説の三部からなっていて、この「種まきのたとえ」の真理を理解することが他の喩えの鍵となるのである。

主イエスは具体的な喩えを用いて、抽象的な真理を解り易く語られたが、それは単に、解り易くするだけではなく、むしろ喩えで、解り難くするためであり、真理に覆いを掛けるようにもなるのである。例えば「知恵の輪」のように、解き方を知っている者は、2つの輪を、簡単に外すことができる。しかし解き方を知らない者は、どんなに力を入れても外すことはできない。私たちは天国の奥義が解らないように仕組みられているのである。

私たちが目に見えない神様の真理を知りたいなら、神の前の自分の心の素直さ、みことばを受け入れる心の柔らかさ、聖さを求める心の度合いに注目しなければならない事がわかる。

今のあなたの心の状態はどうであろうか、それに気がつき、心を開く者は幸いである。

### [聖書の学び]

#### I、種まきのたとえ

種とは、主イエスのみことばのこと

##### 1、たとえ本体の4つの地での状況 (マタイ 13:3~8 p25)

蒔かれた地	種のその後の状態	主イエスの解説①	主イエスの解説②
道端	鳥が来て、食べられてしまった。	サタンが来てみことばを奪ってしまう	みことばを聞いても悟らない人(v19)
土の薄い岩地	すぐに芽を出したが、根がない。日が昇ると焼けて、枯れた。	喜んで聞くが、根がないので、しばらく続くが、すぐつまづく	みことばのために困難・迫害が起こると、すぐつまづく(v20,21)
茨の中	茨が伸びて塞いでしまった。	思い煩いと富の誘惑が塞いで、実を結ばない	自分が1番で、みことばに従わないので、実を結ばない(v22)
良く耕された良い地	あるものは100倍、あるものは60倍あるものは30倍と実を結ぶ	本当に実を結ぶ。あるものは100倍、あるものは60倍、あるものは30倍と実を結ぶ	喜んでみことばを聞いて悟る人(v23)

##### 2、この喩えは最初、どういう人たちに向かって話されましたか？ (マタイ 13:2)

## Ⅱ、天の奥義を知ること (マタイ 13:10~17)

奥義：隠されていて簡単に解らない真理

### 1、群衆にたとえを用いて話をする理由は何でしょうか？

①群衆には2種類の人がある。「天の御国たとえ」は聞く人を選ぶ。(マタイ 13:11)

- ・ 知ることが許されている人・・・主イエスの話に心を開き、信じて、弟子になる人
- ・ 許されていない人・・・主イエスの話を聞いても、信じようとしなない心の人

②持っている人とは、真理を知り、変えられたいと求める人の事です。(マタイ 13:13)

- ・ 求める心を持っている人——→天国の奥義がさらに与えられ、もっと豊かになる。
- ・ 求める心を持っていない人 ——→天国の奥義が全く解らない。解っていたことも失う。

### 2、神の定められた法則

①心を開かない人が解らない理由。(マタイ 13:14~15)

預言者イザヤ：神を忘れ、偶像礼拝をしていた旧約の民  
現代においても：心を開ざして、主イエスを信じない人

} 聞いても悟らない

②主イエスが、心を開く人には、大きな幸いが与えられていると言われた理由は  
何でしょうか。(マタイ 13:16~17)

## Ⅲ、種まきのたとえから解ること(マタイ 13:18~23)

この土地の状態は、決定済みではない。その人の心次第で、動かす事ができる。  
自分の心という土地の状態が変われば、変わることができる。

### 1、主イエスの解説から解ること

①種を蒔かれた土地は、私たち一人一人の心の状態です。

今の、みことばに対するあなたの心は、どの土地の状態でしょうか。

②主イエスに喜ばれ、良い地になりたい、多くの実を結びたいと願うなら、私たちは  
どうすればよいのでしょうか。(マタイ 13:23)

\* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。